

全水協県支部新年会

管理士の国家資格化を

全国建築物飲料水管理部長は22日、鹿児島市協会県支部(玉利賀介支)のパレスイン鹿児島で16



新年に期待を込めて乾杯する出席者
=鹿児島市のパレスイン鹿児島で

年新年会を開き、新しい年始まりを祝うとともに

杯を酌み交わした。

新年会では、玉利支部

長が「昨年は4月にビル

管理法、水道法が改正さ

れ、施行されました。そ

れに伴い当協会において

新規習会が開催され

千数百人の貯水槽水道衛

生管理士が誕生しました。

これからも3000人の

管理士養成を目指し、貯

水槽水道衛生管理士が国

家資格として法律化され

るよう努力したい。今年

も事業環境は厳しいが、

協会会員が一致団結して

乗り切り、すばらしい年になることを祈念します」と挨拶。

続いて、谷川洋三元県議が「内外ともに試練の年を迎えてます。衛生面における県民の向上を

目指してこれからも支部

面における県民の向上を

願うことを祈念します」

このあと、豊水工業(株)

の鳥淵克一社長の発声で

乾杯。会員らは今年の展

望に思いを込めながら、

笑顔で歓談していた。

が結束して発展してほしい」と祝辞を述べた。

このあと、豊水工業(株)

</